

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)エスリード豊中・中桜塚	階数	地上6F
建設地	豊中市中桜塚4丁目67番	構造	RC造
用途地域	第一種中高層地域	平均居住人員	135 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	49,275 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2017年3月28日
敷地面積	1,654 m <sup>2</sup>	作成者	㈱TOKI設計 辻久美子
建築面積	834 m <sup>2</sup>	確認日	2017年4月2日
延床面積	3,717 m <sup>2</sup>	確認者	㈱TOKI設計 鳴戸元基



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	地域に溶け込めるように調和に重点を置きつつ、省エネルギー性も考慮して、住民に住みよい住空間を提供します。	その他 特になし。
Q1 室内環境	温熱等級を3としました。	Q3 室外環境(敷地内) 出来る限り緑地を設け、また壁面緑化や屋上緑化等も取り入れることにより、環境に配慮をしています。
LR1 エネルギー	潜熱回収型のガス給湯器を採用しています。	LR3 敷地外環境 敷地内に設けている機械駐車場は、近隣住民に考慮して遮音パネルで囲い、音対策をしています。
Q2 サービス性能	ほとんどのタイプのメインベッドルームを10m <sup>2</sup> 以上とし、広々とした空間を確保しています。	
LR2 資源・マテリアル	特になし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0002

Osakafu-新築・既存 2015V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)エスリード豊中・中桜塚					
		建設地	豊中市中桜塚4丁目67番					
		用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					<b>B+</b>		
	CO2削減					<b>3</b>		
	省エネ対策					<b>3</b>		
	みどり・ヒート アイランド対策					<b>2</b>		
<b>再生可能エネルギー 利用施設の導入状況</b>		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
<b>エネルギー消費量の報告</b>							<b>対象外</b>	
<b>【評価項目】</b>								
<b>省エネルギー対策</b>		<b>① CO2削減</b>						
		<b>② 省エネ対策</b>						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				<b>3.1</b>	<b>3</b>	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体		<b>3</b>	
					住戸・宿泊	<b>3.0</b>		
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				<b>3.0</b>		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				<b>3.0</b>		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				<b>4.5</b>		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				-		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				<b>3.0</b>		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
<b>みどり ヒートアイランド対策</b>		<b>③ みどり・ヒートアイランド対策</b>						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				<b>1.0</b>	<b>2</b>	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				<b>2.0</b>		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				<b>2.0</b>		
<b>その他</b>								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								